



か え で ゆ う び ん 3月号



2023年3月1日
 社会福祉法人 清松学園
 幼保連携型認定こども園
 か え で 保 育 園
 園 長 引地 美津代

温暖化がますます進み、4月までに桜の花の開花情報が出ています。（今年は3月20日頃）最近はお別れ遠足時に桜のお花見をするようになってきました。10年ほど前に卒園式にお祝いの生花で活けたあと子どもが植えた桜の木もかえで保育園の園庭にしっかり根付き、毎年大きく育ってきています。今年もきれいに花を咲かせてくれることを願います。ほかには園庭には水仙の花・クリスマスローズ・チューリップの芽等、少し季節がわからなくなっていますが、今までの子どもたちと植えた草花が咲く準備をしています。春はそこまで来ています。子どもたちもワクワクしたり・ドキドキしたりしながら最終の月を過ごします。

今年度を振り返りますと、コロナ対応をしていた5月までと感染症の5類となり生活が変わりました。まず、制限することなく園生活が進められるようになった8月頃から急ピッチで元の園生活に戻せるよう進めてきました。まず、園の中に保護者の方々が入館でき、やがて少しずつですがマスクも外せるようになり、表情を見てコミュニケーションがとれるようになりました。顔を覆っていたものが外れ、表情を認識できる様に戻れたことは子どもたちの成長に大きく影響していきます。ほんとによかったと感じます。そして保護者とのゆっくり話す時間を持ったり、共に進める保育こそがかえで保育園の生活でした。行事参加・保育参加・懇談会・かえでカフェ・ダンディタイム等忙しい中でしたが皆さんご参加いただき、ようやく園の様子をお知らせすることができてきました。日々の会話からかえでの子どもたちや職員の営みを少しずつですがお伝えできるようになってきたことは嬉しいことです。

さて、まもなく2023年度が終わり18名のだいち組の子どもたちが巣立っていきます。「6ねんかんありがとう」の手紙をくれたり、まだまだだいちでいたいことがある～！！と毎日忙しく過ごしている子どもたちですが、ここで育った「心」をしっかり以って第二の社会へ巣立っていきます。いつでもここはみんなの故郷です。ひょっこり訪ねてくれることを楽しみに待っています。だいちさん・おめでとうございます。進級する皆さん。新しい年も楽しみましょう！！

2024年度の保育は今年度まだまだ達成できていない園外へどんどん出かけたりやってみいたいことも子どもたちが提案して進めていきます。可能性を伸ばしていき、幼少期の時だからこそできることをたくさん経験し「コアな心」を育てていきたいと思ひます。そして保護者の方々とともに『子どもまんなか社会』を深めていきましよう（かえでのマークは子どもを真ん中に保護者・職員で支えるという意味を持っています）「これからも「共育て」楽しみましよう。



おねがい

- ・3月初めに進級の方々には新年度用の書類を配布します。緊急連絡先や勤務先の変更等をご記入ください（締め切り11日）
- ・進級に当たってロッカーの点検をします。7日（木）～8日（金）に一度全ての物を持ち帰り頂きサイズ・名前の確認をし、11日（月）に持ってきてください。
- ・3月は移行保育で職員や部屋の移動をします。めばえ組・ふたば組・つぼみ組・だいち組は過ごす部屋が変わります。よいこネット等でお知らせしますのでご確認ください。
- ・体操服を忘れた場合の対応について
つぼみ組より参加の「体育あそび」ですが、体操服の忘れがあった場合園の物をお貸ししていましたが、3月より忘れた場合は「着てきた服」で参加いただきます。（貸し出しはありません）

おしらせ

3月の予定

- ・9日（土）卒園式（在園児は不参加）
- ・15日（金）全園児お弁当日、お別れ遠足
- ・19日（火）ありがとうの会
- ・22日（金）誕生会
- ・15日～17日 園庭砂場ポンプの補修
- ・体操14・21・28日（木）
- ・絵画6・25（水・月）
- ・30日（土）新年度準備、職員会議
＊今年度の整理・及び次年度の準備となります。
家庭保育のご協力をお願いします

2024年度より行事の日程等に変更があります。平日に行う行事もありますので4月に配布する行事予定を確認してください。

4月の予定

- ・1日（月）入園式、始業式
- ・20日（土）保護者会（全家庭参加・イベントもあります）

5月の予定

- ・24日（金）うんどう発表会（全園児参加）
平日に行いますのでご予約ください
- ・4月初め ひかり・だいちぐみはバス遠足に出かけます
（行先は子どもたちで決めます）

先生のメッセージ

先日、初めて北海道に行きました。当たり前のように雪が積もっている景色がとてもきれいで、歩いているだけでワクワクして楽しい気持ちになりました。雪まつりや支笏湖氷濤まつりに行き、雪や氷で作られた作品やオブジェを見ました。雪まつりでは、本人そっくりな大谷翔平選手の作品があり、雪でこんな特徴を捉えて作られていることに感動しました。支笏湖氷濤まつりでは、まるで氷の世界に入ったかのようでした。全て、支笏湖の湖水で作られているそうです。巨大な氷のオブジェを見て圧倒されたり、透き通って見える氷や氷柱を見てたり、氷の世界に引き込まれました。その中で見た夕日が沈む景色は壮大で、言葉では表せない感情になりました。雪や氷の自然物を見るだけでも感動するのに、人間の手を加えると、また違った美しさを表現できることに感銘を受けました。普段、子どもたちの作品を見て、一人一人違う作品に、「こんな表現の仕方があるのか」と感動したり、作品から子どもの気持ちが伝わったりして、子どもたちから教わるが多くあります。より子どもたちの「表現」の幅が広がるように、私自身も色々な経験をして、感性を磨いていこうと感じました。



保育教諭 H先生

一人立ちして半年ほど経ちましたが、まだまだ家事に慣れず、理想の暮らしからかけ離れていく日々です。1日働いた後に洗濯、料理、掃除にお風呂。家事って、中々気力と体力を使いますよね。元々料理好きで、チキン南蛮や茄子の揚げ浸し、ちらし寿司など手の凝ったものを作っていた時期もありましたが、だんだんと時間や疲れを理由にパスタにソースを絡めるだけなんて日もしばしば。働きながら子育てや家事をこなす保護者の方のすごさを毎日感じています。成人しても「生計をたてる」という意識がずっと曖昧でした。自分で働いたお金で“生活”することの大変さを痛感し、両親や兄妹、支えてくれた周りの人の有難さに改めて気付いた今こそ、少しずつ大人になっているのかと感じます。私の母もずっと働きながら、帰るといつでも温かいご飯を用意してくれていました。疲れて「スーパーのお惣菜でごめんね。」こんな日も、母が私を想う気持ちを疑ったことはありません。まだ暗い夜明けから仕事に行く父、いつでも優しい母、両親の仕事中いつでも温かく見守ってくれた祖母。全員の存在が、私が頑張る心の軸になっています。“3つ子の魂100まで”子どもの育ちに、周りの大人の存在がどれだけ大きく影響するのかを忘れずに、今日の前にいる元気いっぱい子ども達に心あたたく常に見守れる存在でありたいと思います。

保育教諭 Y先生

メッセージ

春を待ちわびて園庭の木々や草花が次々と芽を出し始めました。

先月は春がそこまで来ているような陽気の日もあれば、冬に戻ったかのような日の繰り返しでしたが感染症の流行もなく落ち着いて過ごせた2月でした。でも2月はあっという間に過ぎてしまい、だいちを送り出すさみしい最終の3月を迎えます。

3年ぶりの酒蔵見学にひかりとだいちぐみが参加しました。数名の保護者の方も参加して下さいました。白鹿の博物館では館長さんから「雛人形の歴史」を、学芸員方からは西宮で咲く「桜の歴史」のお話を聞かせて頂きました。酒ミュージアムでは酒造りの歴史やお酒をつくる道具を見るだけでなく、触れてみたりすることもできました。見るだけでなく、不思議に思ったことや感じたことを質問したり、木の酒樽を匂ってみたりすることで（実際にはお酒の匂いはしません）保護者の方には子どもたちとの観覧のあと、本社の敷地内を歩き、歴史ある宣春苑内でお酒の話や試飲を体験していただきました。開園から「酒蔵見学」を継続してきましたが、来年はより多くの方に参加して頂けたらと思っています。子どもたちが自分の住む町の身近な場所で、西宮の文化に触れる機会があったとことを大人になっても覚えておいてほしいと思いました。また、このような行事が再開できたことをうれしく思います。

主幹保育教諭 F

先日、SDG s チームのだいちさんと図書館に出かけました。園の前にある住宅展示場の家がある日なくなっているのを見て、『おうちの材料はどこにいくんだろう』と不思議が生まれ、調べてみることとなりました。『SDG s の本』『友だちに頼まれた星の本』『ひかりさんが作ったジャムの本』『いぶきさんのスナネコの本』みんなの興味のあるものも借りて帰りたいと、一生懸命探します。スナネコの本がどうしても見つからず困っただいちさん、「ぼくが図書館の人にきいてくるよ!」と迷わず初めて出会った方へ尋ねる姿に、頼もしさを感じました。

「ここには確かおまわりさん（警備員さん）がいたよね」と覚えていて、帰り道に出会うと嬉しそうに挨拶を交わしたり、「図書館は夙川の近くだった気がする」と自分の住む町を知ることにつながったり…遠くに出かけるだけでなく、日常の中で繰り返し小さなおでかけを重ねることで、子どもたちにとって沢山の学びがあると考えています。“こんなところに行ったよね”と思い出には残らなかったとしても、心を育む肥やしとなっているように思います。そして小さなお出かけの中で持ち帰った発見を、子どもたちと膨らませる時間はとてもわくわくするのです。

昨年度のだいち組から受け継いだSDG s チーム、今年ははなんと、いぶき組の仲間が加わりました。どうしてチームに入りたいのか尋ねると、「だって…地球をまもりたいから」これにはだいちさんも目を丸くしました。チームの話し合いの中で「今は仕事なんだ!」と真剣な表情でいぶきさんを鼓舞する場面もあれば、約束の時間に「わすれてたー」と地球を守りそびれることもしばしば。前途多難なSDG s チームですが、子どもたちの発想や言葉から生まれるやりとりは、毎日が平和であることを気付かせてくれます。果たして地球を守ることとはできるのか、SDG s チームのこれからに乞うご期待です。

主幹保育教諭 K

保護者からのエピソード

夕方お迎えに行くと、「まだ遊びたいのに…」のオーラで母を無視する姿に少し切くなります。それだけ、かえでや先生やお友達が大好きなんですね。

いぶき組 あきこさん

小さい子のお世話や赤ちゃんが大好きな娘は、「大きくなったら助産師になりたいなあ」と言っています。異年齢保育を通じて年下の友だちと関わることで自分の夢も広がっていき、素敵だなと思いました。

ひかり組 かざきさん

歌やダンスが大好きな娘。保育園で踊ったダンスを家でも踊ってみせてくれます。その時の誇らしそうな顔が可愛くて何度も踊ってーと言ってしまいます。娘も鏡の前で踊っては自分の姿を見てニコニコしています。今はパブリカとバナナチップスがブームのようです。

つぼみ組 かおりさん

保育園で連絡帳を毎日かいて帰ってくるようになってから、家に着くなり鞆を開けて、連絡帳をみせてくれて、自分で書いた質問の答えを書いて！と言われるようになりました。ひらがなを書くことよむことに対して興味が薄く、ほとんど書けなかったのに、連絡帳が始まってからは、どんどん書けるようになってきたように思います。

あとで書くから待ってて、と言ってついつい忘れてしまっても、ママ！まだ書けてないよ！書いて！としっかりチェックされています。

しっかりしてきたなあ…と息子の成長を日々感じています。

ふたば・だいち組 あいこさん

先生と一緒に地図を描いているみたいで、少しずつ増えていく様子を見るのがお迎えの時の楽しみです。

いぶき組 まりこさん

朝ごはんに食べたみかんに食べがあったと言うので、受けとった種を処分しようとした所、「すてちゃダメ!!!」と言う息子。

その時にみんなで育てたイチゴの話を思い出しながら「育てたいの?」と聞き返すとすごく嬉しそうに頷きました。それなら他の種もおいておけばよかったと後悔ですが、この貴重な一つから芽が出ると信じて育てようと思います。

ひかり組 ゆきさん

2月の子どもたちのようす



園庭では、フラフープの中に入って「ごー！ごー！」と声を出しながら乗り物になりきったり、「(か) きーん！」と言いながら新聞紙バットを振って野球ごっこの真似をしたり、幼児さんの遊びや保育者の動きに興味津々です。

動きや使う玩具をよく見ており、初めは誘い掛けを受けてから楽しんでいましたが、最近では子ども達自身で見つけて遊びを楽しんでいます。



春から園庭で触れ合ってきたカメのもりぴーといっちゃん。夏や秋頃はお家を覗き込みながら“なにか動いている”と不思議そうに眺めたり“触るのはこわい”と距離をとっていた様子でした。

2月になり少し暖かい日が増えると、「かめ」と指さしをして教えてくれたり、嬉しそうに眺めたりする姿が多くなってきました。中には甲羅をなでなでしたい！とお家から出てきて！と訴える子もいます。子どもたちのなかで「なにか」から「かめさん」に認識が変わったようで嬉しく思いました。



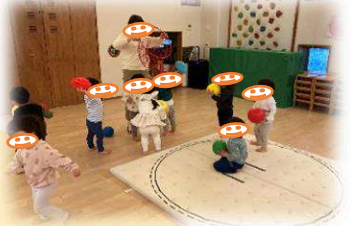
～つぼみ組にいてみよう！～

4月には階段を登り、つぼみ組のお部屋で過ごしていきます。2月ごろから、少しずつつぼみ組のお部屋に遊びにいらしています。こまや見たことのない玩具に大喜び。年上のお友だちに絵本を読んでもらったり、玩具の使い方や遊び方を教えてもらいながら過ごしています。



～ふたば組もサーキット！！～

雨が続き、室内で過ごす時間も増えてきました。そこでランチルームでサーキット遊びをしてみました。跳び箱やはしご、鉄棒など様々な道具を使い、身体を動かしています。サーキット遊びの中で、順番を守る事ことを知ったり、様々な競技を回りながら挑戦することで、ルールや規則を守りながら遊んでいます。



もちつきでは、杵でついてのりをみて「よいしょ！」ともちをつく仕草をしたり、もちの感触を楽しんだりしました。もちを伸ばして「伸びたよ」と言ったり、小さく丸めてみたりして色々な形になるもちに興味津々な様子でした。



ライトテーブル

光が差している上に絵の具を塗ってみると、繊細に見える絵の具の色に、夢中になる子どもたち。色が混ざる変化も楽しみました。透明なボタンなどを並べたり積み重ねたりして、試行錯誤しながら遊ぶ姿が見られます。



バス遠足の行き先は、いぶき組の意見を優先してもらえました。動物園、水族館、公園など様々な意見がありましたが、みんなが大好きな“すなねこちゃん”に会いたいという思いがたくさん出たので「神戸どうぶつ王国」に決まりました。「すなねこちゃんに会えるまであと〇日」とみんなで遠足までの日にちを数えながら、遠足の日まで待ちきれない様子でした。遠足当日、本物のすなねこちゃんに会えた子どもたちの目は、キラキラと輝いていました。帰ってからも「すなねこちゃん」のお世話を丁寧にしてくれています。



今年の節分は、可愛いいぶき鬼が現れました。鬼のお面を付ける子どもや、角が生えた子どもなど様々な鬼がいました。「鬼だぞー」とみんなを驚かせては、驚く反応を見て嬉しそうなかわいい鬼たちでした。



赤く熟したイチゴが少しずつ増えてきており、子どもたちはイチゴをどうやって食べるか、楽しみにしていました。夏頃に栽培していたトマトをジャムにして食べた経験から、「いちごもジャムにしたい!」と思いを伝えてくれました。しかし、育てているイチゴだけではジャムにするには少なすぎます。「どうしようか…」とみんなで相談していると、「買いに言ったらいいんじゃない?」というアイデアが出てきて、「それいいね!」と大盛り上がりです。いつも食材でお世話になっているマンダリさんに買いに行き、ジャムにしたら美味しいイチゴを教えてもらい、ジャム作りを楽しみました。いぶき・だいち組の友だちにも分けてあげることが出来て、みんなで味わえました。



秋頃から継続してつぼみ組をお昼寝後に起こしに行ったり、一緒におやつを食べる機会を設けたり、園外保育を楽しみながらペアの関係性を深めています。関わり始めた当初は緊張した様子が見られ、つぼみ組の保育室に入ることをためらっている子もいましたが、今では「今日つぼみさん行きたい!」「お外で〇〇ちゃんに会ったよ」と積極的に関わる様子が見られ、ペア同士で温かな空気が流れるようになってきました。



バス遠足で行ったどうぶつ王国はたくさんの不思議や発見に繋がったようです。バス遠足の時にお休みだった友だちが好きなチンチラのぬいぐるみを買って帰りました。「どこに置いたらみんなが見えるか」「スナネコのぬいぐるみみたいに一緒に遊びたいね」とだいち組で集まり話し合いました。チンチラの名前を決める時には、たくさんの名前の候補ができました。「可愛い名前がいいな」「“チンチラ”って分かりやすい名前がいい」と話し合う中で「名前って決めるの、難しい…」「どうやってみんなの名前を決めたの?」と誰が決めてどんな意味があるのか不思議に感じていました。「きっといっぱい考えたよね」と嬉しそうに話していました。機会があればお話しして見て下さい。自分の名前をより心地よく感じられるかと思います。“チンチラ”の五尾の「ちら」と2文字で呼びやすい名前がいいなという話から、チンチラの名前は『ちら』になりました。



お台所から

～2月の食育活動～

<節分>

2月5日のお昼ごはんは節分をイメージした「キンパ」でした。お皿にきれいに盛り付けてあるキンパをみて「いいにお～い!」「おいしそう～」ととっても喜んでくれておかわりもたくさんしてくれてうれしかったです。そして玄関にキンパの写真とPOPを飾ると「家でものり巻きたべたね」「キンパはどうだった?」とお話しをしながら嬉しそうにキンパを食べた感想を伝えてくれました。

☆キンパの材料☆

- ・ごはん
- ・牛肉
- ・にんじん
- ・のり
- ・ほうれん草
- ・卵

<ちぢみほうれん草>

お昼ごはんにちぢみほうれん草ができました。

普通のほうれん草とは違い少しボリュームのある見た目やでこぼこした見た目が特徴的だなと思い、「〇〇〇ほうれん草」と名前あてクイズを行いました。

「わかめに似てるからわかめほうれん草かな?」「やさいほうれん草?みどりほうれん草?」と見た目や触ってみた感触から色んな答えがでてきてとってもおもしろかったです。

これは「ちぢみほうれん草っていうんだよ」と答えを教えると、「初めて聞いたよ!」「スーパーでみたことないよ」と少し珍しい様子で「いつものほうれん草より美味しい!」とたくさん食べてくれました。

<かぶ>

園庭で育てたり絵本を読んだりたくさんかぶに触れてきたつぼみさんに葉っぱが付いた大きなかぶを見せに行きました。見えないように隠して持って行くと「なにかな～」と言い、かぶが見えた瞬間「かぶだー!」とすぐに答えてくれて「触りたい!持ってみたい!」とみんなとっても興味を持ってくれました。お昼ごはんではサラダの中からかぶを探して食べていたという話を聞いてとっても嬉しかったです。

～3月の献立・予定している食育活動～

「ひなまつり」の日にはちらし寿司が登場し、お楽しみメニューやリクエストメニューなど子どもたちが楽しみにしている献立もたくさんでできます。また、春キャベツやカリフラワー、アスパラガスなどの食材も献立に取り入れていきますので楽しみに。



今年のおもちつきはたくさんの保護者の方々にお手伝い頂き、活気ある1日となりました。子どもたちやお父さん方がおもちをつくタイミングに合わせて、みんなで「よいしょ!」と大きな掛け声で盛り上げます。粒々のもち米がつやつやのおもちに変わっていく様子を楽しんだ後は実際に手に取って感触を楽しみました。つきたてのおもちはまだ温かく、頬にあてて温もりを楽しむ子どもの姿も見られました。そしてあんこ、きなこ、のり醤油の中から好きな味を選んでおいしくいただきました。おもちつきを通して日本の伝統行事に触れたり、おもちができる過程を知ることで食育にも繋がり、大人も子どもも学びの多い時間を過ごすことができました。お手伝いに来てくださった保護者の皆さまありがとうございました。



3月のあそびへの思い

めばえ

めばえ組として過ごすのもあと1か月となりました。入園したころを思い出すと、寝転がったりハイハイをしていた子ども達がとことこ歩き、初めて保護者の方と離れて泣いていた子どもたちがニコニコで遊んでいる姿を見て、身体も心ものびのび大きくなっているなあと嬉しくなりました。朝の集いでは、みんなの名前をよぶ時間があります。始めは“ほかん”と不思議そうにしていた子ども達ですが、すっかり自分の名前を覚え、「はい」と返事をしてくれるようになりました。また、お友だちの名前や顔も覚え、お友だちの名前がよばれると「こっち!」と指さして教えてくれる時もあります。1年を通して一緒に過ごしてきた子どもたち同士、仲良く笑いあったり、遊びを真似したりする姿も増えました。子どもたちの“やりたい”の気持ちを丁寧に受け止め共感しながら3月を過ごし、ふたば組に送り出していきます。

ふたば

いよいよ、今年度も残りあとわずか。この一年で大きく成長した子どもたちの姿を嬉しく、頼もしく感じています。秋から大切に育ててきたブロッコリー。先日、なんと20株も収穫しました。今回はごま油をひいて、フライパンで焼いて食べました。フライパンから香る美味しそうな匂いや、ジュージュと聴こえる音にみんな大興奮!「いただきます。」と手を合わせて食べました。ままごとの具材の中に緑色のチェーンリングを見つけると、ブロッコリーに見立ててお弁当を作るなど、子どもたちの遊びの中にもブロッコリーが浸透しています。野菜を育てることで、成長に気付いたり、食べることの楽しさを味わいながら過ごしてきました。これから子どもたちと一緒に栽培活動を続けていきます。



つぼみ

つぼみ組で過ごすのも残り一か月となりました。この1年で少しずつ身の回りのことができるようになりました。裏返しになっている服を表に返したり、進んで朝の支度をしたりして「自分でできるからね」と今ではたくましい子どもたちです。いつの間にかできることがたくさん増えた子どもたちの成長を見守ることができて、嬉しく思います。最近では、友だちとのやり取りの中で「遊びたかったの」「貸して」と自分の気持ちを伝えようとする姿が見られます。保育者が仲介しなくても、自分の気持ちを友だちに伝え意思疎通ができている姿を見て、友だちとの関わりの成長を感じる毎日です。かえで保育園の保育方針であるつぼみ組の「見守り」を通して、保育者に見守られてやってみようとする姿をこれまでの生活で積み重ねてきました。安心したクラスで過ごす1ヵ月を大切にしながら進級に期待をもてるよう、関わっていきます。

いぶき

いぶき組になった頃は一人では難しいこともたくさんありました。そんな時、だいちやひかり組のお兄さん、お姉さんに手伝ってもらい、少しずつうまく進められるようになりました。今では友だちや年下の友だちの困っている様子をみて自ら「手伝ってあげようか」と声を掛けたり、手伝う姿も見られます。「いつの間にそんなことができるようになったんだろう」と子どもの成長に驚くこともあります。子どもたちの一つ一つの成長をこれからも見守っていききたいです。また2月から「まかせてねマーチ」という歌を歌っています。だいち組のお兄さん、お姉さんにお世話になったこと(毎日朝の集いや午睡後そばに来てくれること、おやつの時牛乳を運んでくれたことなど)を子ども達と振り返りました。だいち組と過ごす時間を大切に関わっていききたいと思います。そしてひかり組になることに胸を弾ませながら、残り一か月のいぶき組を過ごしていききたいと思います。

ひかり

「ひかりさん」と呼ばれるのも気付けば後1ヶ月になりました。子ども達は憧れのだいち組になる日が近づいてきて、「だいちさんになったら〇〇がしたいな」「こんなこともできるかな」「もうすぐだいちさんだからこれもできるよ」と期待を膨らませています。最近では、クラスの集いの際に少人数での話し合いの時間を設けています。毎日2人ずつつぼみ組のペアと一緒におやつを食べながら会話を楽しむのですが、誰が行くのかをその話し合いで決定します。子ども達は保育者に思いを伝えてくれるのですが、少しずつ「〇〇ちゃんはどう?」「あんまり行ってないよね?」と子ども達同士で声を掛けあう姿が見られるようになってきています。ひかり組の間にもできることはどんどん挑戦して、「ひかり組、楽しかったな」と1年を振り返ったり、自信をもってだいち組に進級できるよう、見守っていきます。

だいち

かえで保育園で過ごす時間も残1か月となりました。子どもたちと保育園での思い出を振り返ると「あの時、楽しかったよね」「みんなで集まって話したよね」と何気ない日常も友だちと話し合った事と当時を思い出しながら話をしてくれます。その中でも、友だち、お家の人、先生、ペアの子と『誰かと一緒に』の言葉がたくさん出てきました。楽しいこと、悲しいこと、悔しいこと、嬉しいことをこの先もたくさんの人との出会いを心待ちにしながら、かえで保育園での経験が一人一人の一步に繋がるよう願っています。今は、卒園に向けての準備を少しずつ始めながら「まただいぼうけんの日したい」「みんなでお出かけ行きたい」とだいち組で過ごす残りの時間の大切に感じているようです。保育園でのたくさんの『やってみたい』の気持ちを小学校生活の期待へ続くよう過ごしていきます。



はまかぜ

2月10日は子どもたちが待ちに待った遠足で神戸どうぶつ王国に行きました。何日も前から「あと何回寝たら遠足!」と楽しみにしていた子どもたち。当日は冬の遠足とは思えないくらいの暖かさで絶好の遠足日和となりました。現地に着くと、はまかぜ4つのグループに別れて散策の始まりです。ペア同士で手を繋ぎ、だいち組が地図を見ながら園内を案内してくれました。間近で見る動物に子どもたちの笑顔がこぼれます。見るだけでなく実際に触れ合える場所も多く、頭上に飛ぶ鳥に驚いたり、カピバラや鹿に触れた時のぬくもりに頬を緩めたりと、色んな表情を見せながら散策を楽しみました。また、久しぶりのお弁当では、蓋を開ける瞬間のワクワクと美味しいお弁当を頬張り笑顔でいっぱいでした。帰園後は、早速心に残った動物の絵を描いたりどうぶつ王国の地図を書いたりしながら思い出話に花を咲かせていました。

